

環境経営レポート

2023年度

(活動期間 2023年1月～12月)

岡山ガステクノサービス株式会社

2008年9月1日 認証・登録

作成日 2024年2月1日

目 次

1. 組織の概要・対象範囲(認証・登録範囲)	1
2. 組織図及び実施体制	1
3. 経営理念・環境理念・環境経営方針	2
4. 環境経営目標	3
5. 環境経営目標に対する実績	3
6. 環境経営目標に対する評価	6
7. 次年度の取り組み内容及び中期目標	8
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反訴訟等の有無	8
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	8

1. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者氏名

岡山ガステクノサービス株式会社

代表取締役 中野 浩

(2) 所在地

岡山県岡山市北区今七丁目22番27号（岡山本社）

(3) 環境管理責任者及び活動責任者連絡先

環境管理責任者

常務取締役 吉塚 治己

環境活動責任者

内管検査担当 副係長 高山 龍太郎（連絡先 TEL 086-244-3838）

(4) 事業の内容

内管および本支管の検査業務

LPG・都市ガス・一般高圧ガスの設備工事および検査業務

内管工事の請負業務

(5) 事業の規模

活動規模	単位	2021年	2022年	2023年
従業員	人	31	30	29
床面積	m ²	618.4	618.4	618.4

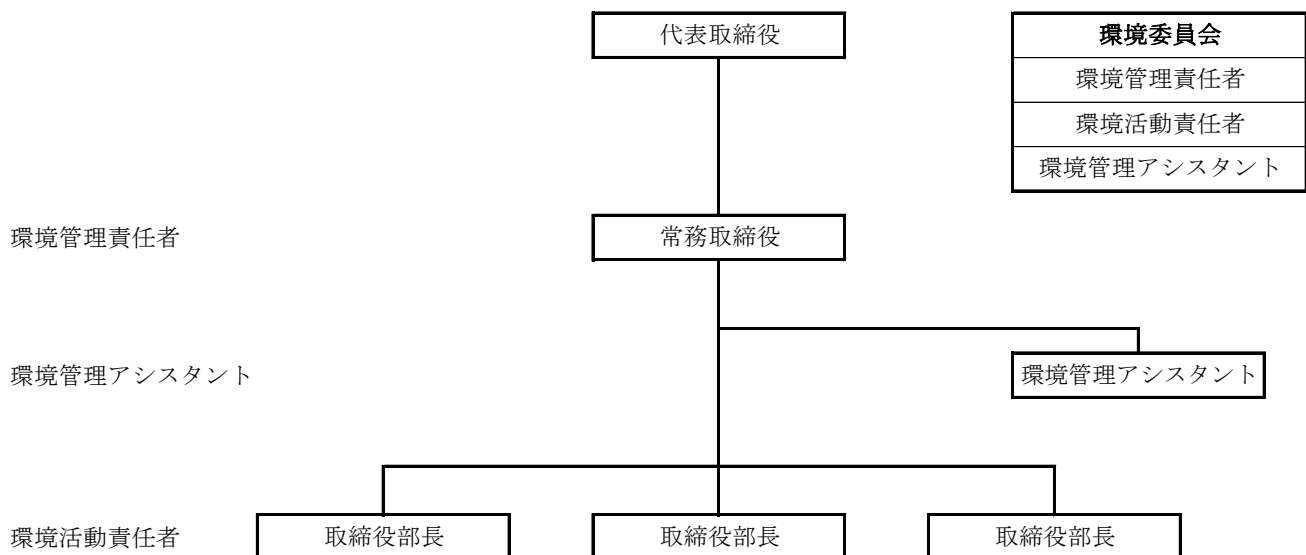
（床面積：岡山 604.8m² 倉敷(占有分) 13.6m²）

対象範囲（認証・登録範囲）

対象事業所 本社、倉敷営業所、北倉庫、東倉庫

2. 組織図及び実施体制

組織図



実施体制

代表取締役	環境経営システム・環境保全活動等の実行に当たり、全てに指示権限を有するとともに、全ての責任を担う。
環境管理責任者	環境経営システム・環境保全活動の策定を行い、指示系統の確認及び実行の過程を掌握する。
環境管理アシスタント	PDCA計画原案作成・修正案作成・活動状況取りまとめ・報告・環境経営レポート作成・従業員等の環境教育・外部からの情報受付・対応。
環境活動責任者	環境活動計画の運用 廃棄物削減・リサイクル担当責任者 省エネルギー担当責任者 省資源化担当責任者

3. 経営理念・環境理念・環境経営方針

経営理念

「信頼と情熱」

地域社会からの「信頼」

お客さまからの「信頼」

従業員との「信頼」

仕事への「情熱」

環境理念

当社は、環境保全が重要課題であることを全従業員が認識し、積極的かつ継続的に環境保全に配慮した事業活動を行い、豊かな社会の創造に向け、社会的責任を果たします。

環境経営方針

当社は、事業活動を通じた環境に与える影響を的確に把握し、継続的な環境負荷の低減、環境汚染の予防に取り組みます。また、業務の継続的な改善により高品質な技術、サービスの提供を通じ、省エネ、省資源化に努めます。

1. 二酸化炭素排出量削減のため、電力・都市ガス・ガソリン等の使用量を低減します。
2. 廃棄物の排出量を削減し分別を徹底します。
3. 環境保全に繋がる物品の提供に努めます。
4. 業務の効率化を図り、省エネ、省資源化に努めます。
5. 環境関連法規を遵守します。

制定日 2007年11月1日

改定日 2023年2月1日

岡山市北区今七丁目2番27号

岡山ガステクノサービス株式会社

代表取締役 中野 浩

4. 環境経営目標

(1) 二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・総排水量の削減目標

項 目	単位	基準値	2022年度		2023年度		2024年度	
			目標値	削減率 (%)	目標値	削減率 (%)	目標値	削減率 (%)
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	76,895	69,813	9.2	68,325	11.1	67,086	12.8
産業廃棄物排出量	kg	556	392	29.5	384	30.9	376	32.3
一般廃棄物排出量	kg	1,172	1,078	8.0	1,056	9.8	1,035	11.6

※基準値は2018年～2020年度の実績平均値

※削減率は基準値に対する削減量の割合

※産業廃棄物排出量は廃プラスチック、ガラス、コンクリートの排出量

※一般廃棄物排出量は可燃ごみの排出量(ダンボール、古紙等資源化物は除く)

※電力二酸化炭素排出係数は0.521kg-CO₂/kWh (中国電力㈱2020年度調整後排出係数)

※化学物質の使用は微量のため、数値目標の設定は行わず適正管理を実施

※水道使用量は2023年度より数値目標の設定は行わず適正管理を実施(維持管理値224m³)

(2) 環境配慮機器の設置

項 目	基準値	2022年度	2023年度	2024年度
ガス漏れ警報器 設置・更新	(年度計画数) 100%達成	(計画数：973台) 100%	(計画数：565台) 100%	(計画数：553台) 100%

※年度毎の計画値変動が大きい、計画値に対する達成度合で評価

(3) 業務効率の向上

項 目	基準値	2022年度	2023年度	2024年度
手順書・マニュアル 作成	手順書作成 3件	伝承すべき知識・技 術の洗い出し・手順 書、マニュアル書式 決定 試行 3件	手順書、マニュアル 作成 5件	手順書、マニュアル 作成 5件

5. 環境経営目標に対する実績

5.1 2023年度の目標及び実績

項 目	単位	基準値	目標値	目標削減率 (%)	実績値	実績削減率 (%)	達成率
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	76,895	68,325	11.1	62,138	19.2	110.0
産業廃棄物排出量	kg	556	384	30.9	450	19.1	85.4
一般廃棄物排出量	kg	1,172	1,056	9.8	1,035	11.7	102.1

※電力二酸化炭素排出係数は0.521kg-CO₂/kWh (中国電力㈱2020年度調整後排出係数)

項 目	基準値	目標	実績
環境配慮機器の設置 (ガス漏れ警報器設置・更新)	(年度計画数) 100%達成	(計画数：565台) 100%	(612台) 108.3%
業務効率の向上 (手順書・マニュアル作成)	手順書作成 3件	手順書、マニュアル 作成 5件	手順書、マニュアル 作成 5件

5.2 2023年度の二酸化炭素排出量内訳

2023年度エネルギー消費の内訳

内 訳	単位	基準値	目標値	実績値
電力使用	kWh	27,577	21,996	21,529
都市ガス使用	m ³	4,698	4,658	3,922
ガソリン使用	ℓ	16,424	14,645	12,801
軽油使用	ℓ	5,533	4,971	4,943

2023年度二酸化炭素排出量の内訳

内 訳	単位	基準値	目標値	目標削減率 (%)	実績値	実績削減率 (%)	達成率
電力使用	kg-CO ₂	14,367	11,460	20.2	11,217	21.9	102.2
都市ガス使用	kg-CO ₂	10,147	10,062	0.8	8,471	16.5	118.8
ガソリン使用	kg-CO ₂	38,104	33,977	10.8	29,698	22.1	114.4
軽油使用	kg-CO ₂	14,276	12,825	10.2	12,752	10.7	100.6
合 計	kg-CO ₂	76,895	68,325	11.1	62,138	19.2	110.0

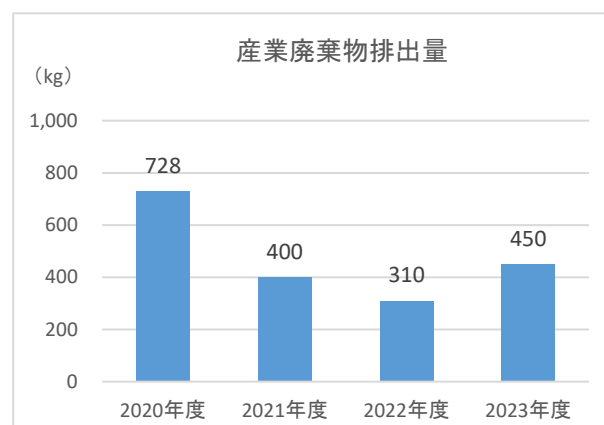
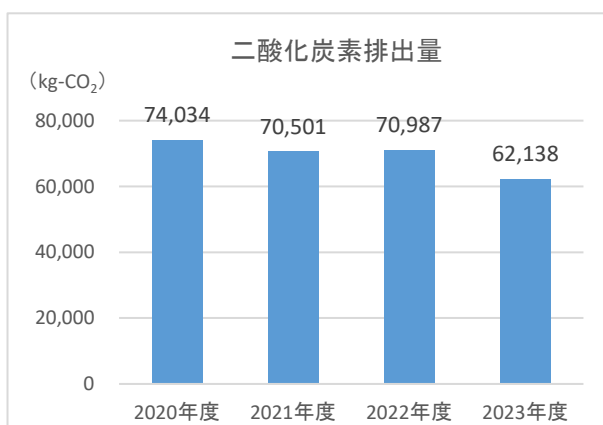
※電力二酸化炭素排出係数は0.521kg-CO₂/kWh（中国電力㈱2020年度調整後排出係数）

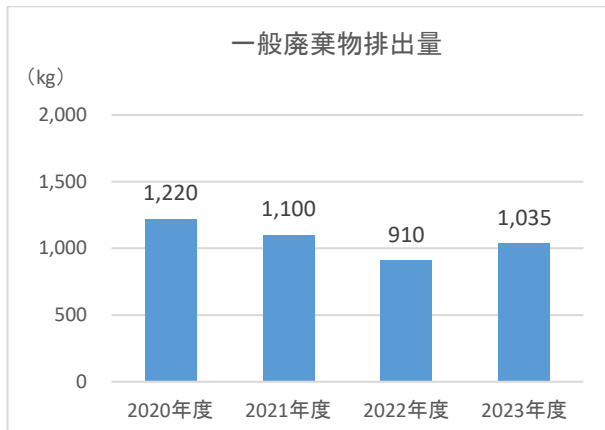
5.3 実績推移

項 目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	74,034	70,501	70,987	62,138
産業廃棄物排出量	kg	728	400	310	450
一般廃棄物排出量	kg	1,220	1,100	910	1,035

※電力二酸化炭素排出係数は0.521kg-CO₂/kWh（中国電力㈱2020年度調整後排出係数）

項 目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
環境配慮機器の設置 (ガス漏れ警報器設置・更新)	(1,514台) 212.6%	(986台) 137.3%	(1,226台) 126.0%	(612台) 108.3%
業務効率の向上 (手順書・マニュアル作成)	-	-	-	手順書、マニュアル作成 5件





5.4 過去4年間の二酸化炭素排出量内訳の実績推移

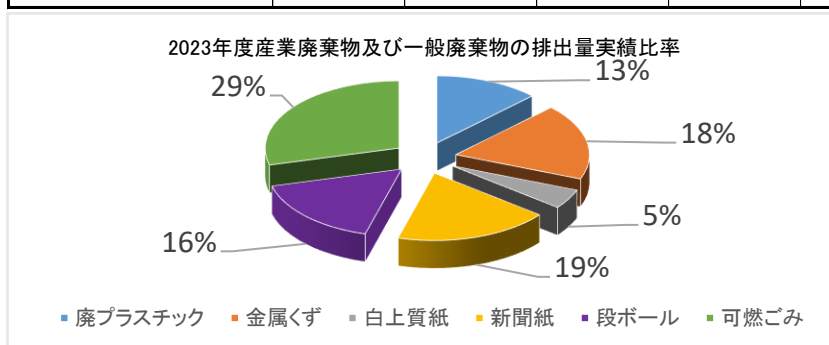
項 目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
電力使用	kWh	24,990	23,597	22,920	21,529
都市ガス使用	m ³	4,813	4,997	4,607	3,922
ガソリン使用	ℓ	15,395	14,796	14,499	12,801
軽油使用	ℓ	5,776	5,072	5,991	4,943

項 目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
電力使用	kg-CO ₂	13,020	12,294	11,941	11,217
都市ガス使用	kg-CO ₂	10,396	10,794	9,950	8,471
ガソリン使用	kg-CO ₂	35,716	34,328	33,638	29,698
軽油使用	kg-CO ₂	14,902	13,086	15,457	12,752
合 計	kg-CO ₂	74,034	70,501	70,987	62,138

※電力二酸化炭素排出係数は0.521kg-CO₂/kWh（中国電力㈱2020年度調整後排出係数）

5.5 2023年度産業廃棄物排出量及び一般廃棄物排出量の内訳

内 訳	単位	基準値	目標値	目標削減率 (%)	実績値	実績削減率 (%)	達成率
産業廃棄物							
廃プラスチック・ガラス・コンクリート	kg	556	384	30.9	450	19.1	85.4
金属くず	kg	—	—	—	650	—	—
一般廃棄物							
白上質紙	kg	—	—	—	168	—	—
新聞紙・本	kg	—	—	—	668	—	—
段ボール	kg	—	—	—	590	—	—
可燃ごみ	kg	1,172	1,056	9.8	1,035	11.7	102.1



5.6 過去4年間の産業廃棄物及び一般廃棄物の排出量推移

項 目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
廃プラスチック・ガラス・コンクリート	kg	728	400	310	450
金属くず	kg	670	825	645	650
白上質紙	kg	104	105	144	168
新聞紙・本	kg	121	197	316	668
段ボール	kg	328	699	713	590
可燃ごみ	kg	1, 220	1, 100	910	1, 035

6. 環境経営目標に対する評価

6.1 2023年度の実績判定

項 目	単位	基準値	目標値	実績値	達成率(%)	達成判定
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	76, 895	68, 325	62, 138	110. 0	○
産業廃棄物排出量	kg	556	384	450	85. 4	×
一般廃棄物排出量	kg	1, 172	1, 056	1, 035	102. 1	○

項 目	基準値	目標	実績	達成判定
環境配慮機器の設置 (ガス漏れ警報器設置・更新)	(年度計画数) 100%達成	(計画数：565台) 100%	(612台) 108. 3%	○
業務効率の向上 (手順書・マニュアル作成)	手順書作成 3件	手順書、マニュアル 作成 5件	手順書、マニュアル 作成 5件	○

6.2 取り組み結果の評価

二酸化炭素排出量は、全体で基準値に対し10%の削減となりました。電力、都市ガス、ガソリン軽油の使用量につきましても、2023年度は全て目標達成となりました。

産業廃棄物につきましては、検査・工事受注の増加、保有資機材の更新により大きく増加し目標値に対して△14.6%増加する結果となりました。

一般廃棄物につきましては、社員のゴミの分別意識、廃棄物を減らそうとする意識の向上により、廃棄物排出量が目標を達成することが出来ました。

ガス漏れ警報器の設置・更新ならびに手順書及びマニュアル作成につきましても、目標を達成することが出来ました。

次年度につきましても、引き続き、全社員へ環境経営目標を周知徹底し、個々の取り組みの強化を図り、一層の環境負荷低減を目指して参ります。

6.3 環境活動計画と取り組み結果

2023年度環境活動計画	取組結果	継続/変更	2024年度環境活動計画
二酸化炭素排出量の削減			
車両燃料の削減			
二輪車の積極的な利用	△	継続	利用回数を増やすよう努める。
アイドリングストップの励行	○	継続	走行時以外ではエンジンを停止するよう努める。
エコドライブの励行	○	継続	急発進、急加速を行わないよう努める。
購入電力の削減			
電灯の適切な点滅	○	継続	こまめな消灯を徹底して行うよう努める。
パソコン省電力モード、電源OFFの励行	○	継続	使用時以外では電源を切るよう努める。
空調温度の適正管理	○	継続	温度設定の遵守に努める。
不要区域の運転停止の励行	△	継続	気づいた場合は電源を切るように努める。
都市ガス使用の削減			
空調温度の適正管理	○	継続	温度設定の遵守に努める。
不要区域の運転停止の励行	○	継続	気づいた場合は電源を切るように努める。
クールビズ・ウォームビズの実施	○	継続	気温に合わせ、衣類の着脱に努める。
廃棄物排出量の削減			
産業廃棄物の削減			
分別に関する教育の実施	○	継続	定期的に周知を行うよう努める。
廃棄物保管場所の定期監視	○	継続	誤った廃棄物がある場合には徹底して周知を行うよう努める。
一般廃棄物の削減			
ペーパーレスの推進	△	継続	報告書等はパソコンに保存するよう努める。
廃棄物、資源化物に関する教育の実施	○	継続	定期的に周知を行うよう努める。
廃棄物保管場所の定期監視	○	継続	誤った廃棄物がある場合には徹底して周知を行うよう努める。
水道使用量の適正管理			
節水の徹底	△	継続	洗濯をまとめて行うよう努める。
軍手等のまとめ洗いの徹底	△	継続	定期的に周知を行うよう努める。
化学物質の適正管理			
使用量の把握	○	継続	在庫管理を徹底して行うよう努める。
物質の管理	○	継続	指定された場所への保管に努める。
環境配慮機器の設置(ガス漏れ警報器の設置・更新)			
定期保安巡回時の訴求	○	継続	警報器の必要性を知って頂くよう努める。
更新物件への早期交渉	○	継続	積極的な対話に努める。
進捗管理の徹底	△	継続	早期に決まらない場合、継続して交渉するよう努める。
業務効率の向上(手順書・マニュアルの作成)			
担当者の明確化	○	継続	各部署内での周知を徹底して行うよう努める。
スケジュールの明確化	△	継続	完成期限を決め、期限内での作成に努める。
進捗管理の徹底	△	継続	進捗状況の管理に努める。

7. 次年度の取り組み内容及び中期目標

(1) 二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・総排水量の削減目標

項 目	単位	基準値	2022年度		2023年度		2024年度	
			目標値	削減率 (%)	目標値	削減率 (%)	目標値	削減率 (%)
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	76,895	69,813	9.2	68,325	11.1	67,086	12.8
産業廃棄物排出量	kg	556	392	29.5	384	30.9	376	32.3
一般廃棄物排出量	kg	1,172	1,078	8.0	1,056	9.8	1,035	11.6
電力使用量	kWh	27,577	22,677	17.8	21,996	20.2	21,556	21.8
都市ガス使用量	m ³	4,698	4,802	△ 2.2	4,658	0.8	4,565	2.8
ガソリン	ℓ	16,424	14,944	9.0	14,645	10.8	14,353	12.6
軽油	ℓ	5,533	5,021	9.3	4,971	10.2	4,921	11.1

※基準値は2018年～2020年度の実績平均値

※削減率は基準値に対する削減量の割合

※産業廃棄物排出量は廃プラスチック、ガラス、コンクリートの排出量

※一般廃棄物排出量は可燃ごみの排出量(ダンボール、古紙等資源化物は除く)

※電力二酸化炭素排出係数は0.521kg-CO₂/kWh (中国電力㈱2020年度調整後排出係数)

※化学物質の使用は微量のため、数値目標の設定は行わず適正管理を実施

※水道使用量は数値目標の設定は行わず適正管理を実施(維持管理値224m³)

(2) 環境配慮機器の設置

項 目	基準値	2022年度	2023年度	2024年度
ガス漏れ警報器 設置・更新	(年度計画数) 100%達成	(計画数：973台) 100%	(計画数：565台) 100%	(計画数：553台) 100%

※年度毎の計画値変動が大きいため、計画値に対する達成度合で評価

(3) 業務効率の向上

項 目	基準値	2022年度	2023年度	2024年度
手順書・マニュアル 作成	手順書作成 3件	伝承すべき知識・技術 の洗出し 手順書、マニュアル書 式決定 試行 3件	5件	5件

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規等は遵守されていました。

また、関係機関、利害関係者等からの指摘・訴訟ありませんでした。

今後も環境関連法令を遵守し、外部に迷惑を及ぼさないように努めます。

適応される主な法規制類	遵守すべき事項	遵守評価
1、廃棄物処理法	保管基準の遵守、契約類の適正管理	遵守
2、廃棄物処理法	産業廃棄物の運搬、収集	遵守
3、フロン排出抑制法	簡易点検	遵守
4、資源有効利用促進条例	再生資源利用	遵守

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

◇ 代表者の評価

二酸化炭素排出量は、電力・ガス・ガソリン・軽油すべての項目において減少した。気候や業務量等、少なからず影響を受けていると思われるが、一方では、各人の節エネ意識の向上が寄与したものと推察される。廃棄物においては、分別徹底を指導しているものの未だ道半ばであり、シュレッダーごみ・リサイクルごみが増加する傾向にある。今年度から業務のペーパーレス化に向けた活動を行っていく。環境負荷の低減、業務の効率化に通ずる提案や自らの取り組みを期待する。

◇ 代表者の見直し(①環境経営方針②環境経営目標及び環境活動計画③実施体制)

①環境経営方針：変更なし。

②環境経営目標：2022年度～2024年度3ヵ年計画について変更なし。

③実施体制：変更なし。

◇ 代表者による指示事項

①電力・都市ガス・ガソリン使用量の削減

引き続きCO₂排出量の低減に努めること

②廃棄物削減の徹底

資源化物等の分別処理の徹底を図るとともに、ペーパーレス実現に向けた業務改善に取り組むこと

③業務効率の向上

現在進めている手順書・マニュアル整備にあたっては、掲載素材の充実を図り誰にでも具体的、視覚的に理解が深められるよう工夫すること

以上